

2021年1月26日

課題名：大動脈弁形成術に対する全国アンケート調査

◆研究の目的と概要◆

本研究の主目的は心臓血管外科を施行している全国（最大 250 施設）の施設に大動脈弁形成術式に特化したアンケートを発送、集計し、本邦における大動脈弁形成術の現状を調査し、2014 年のそれと比較検討することです。

◆対象となる患者さん◆

2019年1月1日から、2019年12月31日までの間に、緊急ではないが大動脈弁もしくは大動脈基部に手術を要した16歳以上の方。

◆研究に使用される情報◆

情報：大動脈弁形成術の現状の結果報告（年齢、性別、手術後合併症、再手術率、術後死亡率、院内死亡率など）

◆研究方法◆

上記の情報を、患者さんの氏名などがわからないようにしたうえで、下記機関に対して電子的配信にて提供します。

◆主な共同研究機関及び研究責任者◆

東京慈恵医科大学 心臓血管外科学講座 國原 孝 医師が主体となって実施しており、最大全国 250 施設が参加する予定です。

〈研究分担者〉

大北 裕	高槻病院 心臓・大血管センター長
荒井 裕国	東京医科歯科大学 心臓血管外科 教授
岡林 均	三菱京都病院 心臓病センター長 兼 顧問
高梨 秀一郎	川崎幸病院・榊原病院 心臓血管外科 部長
夜久 均	京都府立大学 心臓血管外科 教授
竹村 博文	金沢大学医薬保健研究域医学系 心臓血管外科 教授
椎谷 紀彦	浜松医科大学 心臓血管外科 教授
松居 喜郎	華岡青洲記念心臓血管クリニック 院長
澤崎 優	小牧市民病院 副院長兼心臓血管外科部長兼手術センター長

- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
- * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

心臓血管外科 研究責任者 小宮 達彦

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明